



アプリで出会う

アプリ婚活開始から2カ月半
残念な体験も「気にせず頑張ろう！」

さくたろうさん 男性・20代前半

県外の大学を卒業後、Uターン就職。以前から結婚願望があり、職場環境に慣れ始めた2024年10月半ばに婚活をスタートしました。早速、2社のアプリに登録して2カ月半。検索結果の表示方法や、写真やプロフィールを見て興味を持ったお相手に送るサインである「いいね」など、運営会社によって異なったこと、マッチングが成立した後、お相手とのことを伺いました。趣味はボードゲーム。

レポータープロフィール

結婚観▶早くから結婚願望アリ。近隣在住者が理想

希望するお相手は、隣接する市町村に住んでいて、自分の年齢+2~4歳くらいの人。「出産は女性の身体の負担が大きいので、子どもを持つかどうかは話し合っただけで決めてほしい」と考えています。

婚活のきっかけ▶27歳がひとつの目安。逆算して今から

27歳で部署の異動があるため「27歳がひとつのライン」と思っています。結婚はその前か、27歳以降少し落ち着いてからか…。どちらにしてもまずは婚活を、と結婚相談所や婚活イベントと比べてリーズナブルで同年代の利用者も多いアプリに登録をしました。

アプリの利用者は想像以上に多く成婚者も決め手は登録者数と価格

周りにマッチングアプリを利用している人が多く、友人や先輩の中にはアプリで出会ってお付き合い中の人や結婚した人もいます。「言わないだけでアプリ利用者は案外多いと思いました」とさくたろうさんは話します。

登録者数の多さとリーズナブルな価格に惹かれて最初に登録したのは、性格診断や心理テストなどがあって気楽に試せて、女性利用者が多いアプリA。携帯電話の番号、Facebook、LINEなどからログインできます。

さくたろうさんが選んだのはFacebook。自分のFacebook上で友達になっている人はマッチングから自動的に外れるよう配慮されています。

ニックネームや居住地を入力し、登録は完了。次に、簡単な診断テストがあり、自分がどのようなタイプか、どんな人と相性が良いかという結果が表示されます。そこからは手順に従ってプロフィールや趣味などの情報を入れていきます。説明が丁寧なので、迷うことなく簡単にできます。気になった人に「いいね」を送ることができ、早速メッセージが届くことも。男性の場合、無料会員はお相手にメッセージを1通だけ送れますが、2通目以降を送るには有料会員になる必要があります。さくたろうさんは1カ月プランに申し込みました。

マッチングの鍵を握るプロフィールを作成するには、写真、プロフィール文、基本情報が必要。基本情報には、年齢、身長、体形、結婚歴、結婚に対する意思、家事育児に対する考え、などたくさんの項目があったそう。全部回答しなくても登録できますが、共通点が多いとマッチング率も高まる傾向にあるようで、さくたろうさんもせっせと答えてプロフィールを完成させました。

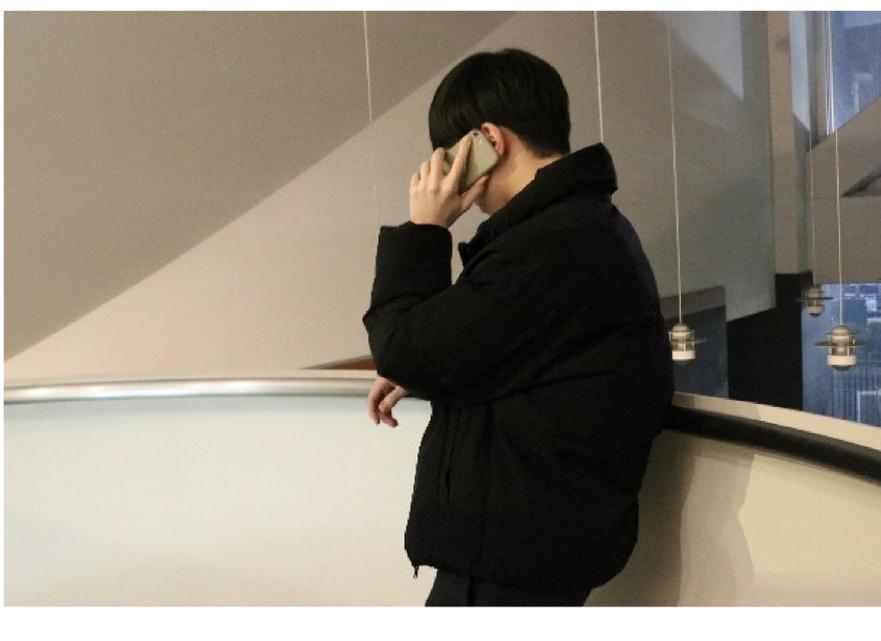
登録直後、マッチング成立 連絡のやりとり続き、一緒に食事へ

いよいよお相手を検索。お相手に望む条件を入力しボタンをタップすることで条件に合ったお相手がリストアップされます。条件の絞り方によって、ヒットする数や人に大きく違いが出るそうです。

最初、細かく条件を入れたところ、県内での該当者は驚くほど少なかったそう。だからといって出身地を制限しないとヒット数が増えすぎるため「地方在住者は、希望する出身地を厳しく絞りすぎない方がいいと感じた」と言います。また、年齢の制限をしないと年下や、自身の想定よりも少し年上の中で該当する人が出てくるため、こちらも「理想より多少広げて設定した方がいい」とアドバイスします。

慣れないと絞り加減が少々難しいようですが「検索ボタンの上に『現在絞られている人数』が示され、その数を見ながら条件の調節ができるようになりました」と話します。ほかにも相性の良さそうな人や、今までの傾向からアプリ側が判断しておすすめの人を送られてくることがあり、マッチングはしやすかったそうです。

マッチングした人のうち、何人かとメッセージをやりとり。5往復ほど続くと、電話をするか会うことをさくたろうさんから提案しました。そのうちの1人とは毎日やりとりが続き、お互いの都合がついた1カ月後に食事に行きました。毎日連絡をしていたことで、初めて会ったような気がしないほど自然に会話が弾み、楽しい時間を過ごしました。滑り出しは順調と思われました。



分かりづらい退会方法 申請しないと自動的に契約更新

「いい感じ」だったお相手ですが、残念なことにそれ以上の進展はありませんでした。その間に当初申し込んだ1カ月の期限が経過。契約は自動更新されていたのです。「リマインドされることもないので時期は自分で管理しておいた方がいい」とさくたろうさんはアドバイスします。

しかも「退会方法が複雑で分かりづらかった」そう。アプリをアンインストールしただけでは退会にはならず、解約をしてから退会に進む必要がありました。退会すると時間をかけてつくったプロフィールやメッセージも削除され、マッチングしたお相手に退会が通知されないのだそう。そして退会后、30日間は再登録ができないのだそう。「退会は慎重に検討した方がいい」と言います。

真剣度が高い人が多いアプリB 約束した後、音信不通に…

契約が再度自動更新される前にAを退会。新たにBに登録しました。Bは、大手ショッピングセンターのクレジットカードを作ったり、動画配信サービスに登録したりといくつかのミッションのうちの一つをクリアするとお得に使えるサービスがあるそうです。このサービスを利用して、さくたろうさんは30日無料プランに申し込みました。

AとBで、プロフィールの作成に必要な項目に多少違いはあるものの、大きな違いはなかったそうです。違ったのは、検索結果の表示方法や表示されるお相手の年齢層など。「Bの方が結婚に対して真剣な人が多い」と感じたそうです。また「たまたまだったのかもしれませんが」と前置きをしつつ「シングルマザーの利用が多い」とも思ったそう。「マッチングアプリでも運営会社によって使い勝手が全然違いますね」と話します。

「いいね」を送り、お相手が「ありがとう」を返してくれたらマッチング成立。さくたろうさんは10人ほどとマッチングし、メッセージを交わすようになりました。そのうち1人とはやりとりが続いて、会う約束まで話が進みました。しかし、その直後からいきなり連絡がとれなくなってしまったのです。約束が実現することはありませんでした。

音信不通は気にしない、が一番 検索項目よりも「当てになる」 ものとは…

いきなり音信不通になることは、アプリ利用者の間では決して珍しいことではないようです。「いざ会うとなると不安になってきた」「大量すぎる他のメッセージに埋もれてしまった」「連絡するより優先度が高いことができてしまった」など、さまざまな理由が考えられます。さくたろうさんは「自分がどんなに真摯に対応しても、音信不通になることはある。それは誰が悪いわけでもない」と感じたそう。「気を落とさずに頑張っていきましょう」と呼び掛けます。

もう一つ、実際にアプリを使い始めて感じたことがあります。それは「年齢、職業、興味のあることなどの条件項目よりも大切なものがある」ということです。それが、プロフィール文。「プロフィール文にこそ個人の人となりが出てくる」と言います。たとえば、改行を入れて分かりやすく書かれた文からはお相手の思いやりが、言葉遣いから人となりが感じられます。「たとえば、項目の中に『読書』と入ってなくても、プロフィール文の中に『息抜きは、カフェで本を読むこと』とあれば、本が好きだということが分かります」とさくたろうさん。

「検索項目だけにとらわれず、プロフィール文や、やりとりをするメッセージ文の行間を読む感受性も必要」と話してくれました。